

学校教育目標	●「働く」…主体的に社会貢献できる職業人をめざします 働くことをめざした学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます					
	●「自立」…社会や他者とながりがもてる、自立した社会人をめざします 社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と協働しながら自分らしく社会生活を送ることが出来る力を育てます					
学校概要	●「自己実現」…自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします 社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます					
	創立 18 周年	学校長	福島 豊	副校長	菅井 昭宏	2 学期制
指定地域等						
幼児・児童・生徒数:		人	幼稚部:	人	小学部:	人
					中学部:	人
					高等部本科:	127 人
					専攻科:	人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力を踏まえた 「(3)年間で育てる子ども像」と具体的取組
・社会人としての基本的素養 ・コミュニケーション力 ・自他を認める力 ・「働く」力 ・「自立する」力 ・「自己実現」に向かう力	○社会的に自立する態度・姿勢をもち、積極的に社会貢献しようとする人 ○自他を尊重しながら、「自分らしさ」を生かした生き方を実現していこうとする人 ○生徒一人ひとりの自己実現に向けて、「人権教育を基盤とした指導・支援の充実を図りながら、学校教育全体を通して、生徒の自己有用感を育てるとともに、自他を尊重する全人的な教育を進めます。 ○働く力、社会人として生きていく自覚を高め、積極的に社会貢献しようとする態度を育てます。 ○生徒自身が学ぶことの喜びを実感し、卒業後も学び続ける意欲を持ち続けることができるようにながら、自立した社会生活を送るための基礎となる力を育てます。

中期取組目標	○自ら考えを深め、自己表現、自己決定の力を育てます。 ・自分らしく豊かな生活をおくるために、ものごとをとらえる視点や考え方を働かせて、生きた知識を習得し、思考力、判断力、表現力を豊かにする教育を進めます。 ・自分らしく社会生活を送るための力を育成することをめざします。 ○一人ひとりのキャリア発達と社会的ニーズに応じた職業教育を進めます。 ・一人ひとりのキャリア発達を踏まえ、社会状況の変化に応じて、多様化している就労ニーズに基づいた職業教育を進めます ○地域、関係機関、企業等との協働による就労支援を進めます。 ・働くことに意義や喜びを見いだせるように、地域、関係機関、企業等との協働による取組を進めます ○自己理解を深め、自立生活の実現をめざします。 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた活動を通して、自己理解を深め、自分の課題や社会的な課題の解決に向けた態度の育成を進めます ○文化やスポーツを、自ら「学び」「創り」「協働」する機会を重視した教育を進めます。 ・生涯を通して、芸術やスポーツと豊かにかかわり、他者と協働しながら自分らしく幸せに生活する素地を育む教育を進めます
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	主体的な学び	「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、ICT機器を有効活用させながら授業改善に取り組む。 生徒：授業で学ぶべき「ねらい」を自らが意識し、情報収集能力や課題解決能力を高め、主体的な学びを行う。 教員：講義型の授業から「対話型」の授業づくりを進め、生徒の「主体的・対話的」な学びを充実させる。
徳	道徳・人権教育の推進	①他者とのかかわりの中で自分や他者の長所や個性を理解し、お互いを認め合い、支えあえる関係づくりや授業、現場実習を通して、「自己理解」を深める。 ②「特別の教科 道徳」の授業実践をさらに進め、その内容を深める。 ③生徒にとっての最大の教育環境は教職員であることを自覚し、「人権チェックシート」等で人権面を大切にした指導支援ができるように振り返りをおこなう。 ④keepsafeプログラムの学習を通して生徒一人ひとりが「豊かな人生の為の自己決定自己選択」の力を高める
体	健やかな体	①自立した生活を支える基礎である(就労準備性ピラミッドの)「健康管理」「生活のリズム」獲得に向けた支援をおこなう。 ②生涯にわたるスポーツを楽しむ取組む意識を育成する。
公開	進路指導・支援	①「就労準備性ピラミッド」の考えに基づき、各教科、職業の授業を通し、生徒の「働く」「自立」力の伸長を図る。 ②積極的な職場開拓と実習先の丁寧な調整を行い、生徒個々の状況に応じた進路指導・支援を行っていく。 ③卒業生の定着支援に学校全体で取り組み、それにより教職員の資質及び専門性の向上を図る。
いじめへの対応		①生徒指導においてアンテナを高く持ち、課題を早期発見・早期解決できるように努める。 ②いじめの未然防止に向け、予防的な取組を重視した情報共有と指導・支援体制の構築を行う。 ③担任、支援担当、CO、保健室、管理職などが情報共有をし、組織としていじめ防止に取り組む。
人材育成・組織運営(働き方)		①「チーム二ツ橋」をキーワードに教職員一人ひとりの長所を生かした風通しの良いチーム作りを推進する。また学年内のチーム力強化及び学年を超えた連携を推進していく。 ②働き方改革として⑦時間外勤務45時間以内④19時までの退勤⑤年休取得10日を目標に、教職員の業務軽減に向けた取組を推進する。 ③メンターチームの自主的運営を学校全体でサポートし、キャリアステージに応じた育成を進めていく。 ④主幹会議を新たに設定し、学校運営上の課題の共有、方向性の確認を行います。
個に応じた指導・支援		①生徒の実態やニーズの多様化を踏まえ、社会の様態・ニーズも考慮し、個別的教育支援計画・個別の指導計画を関係教職員で共有して、一貫した指導・支援の充実を進める。 ②教職員間の活発なディスカッションに基づく一人ひとりに応じた目標設定や指導方法の共有と、本人との対話による目標設定及び保護者との合意形成を丁寧に進める。 ③生徒指導提要に沿った生徒指導のあり方を見直し、生徒一人ひとりが卒業後の自立した生活に向け「自分で考え判断できる」力の育成を行う。
センター的機能の取組		①特別支援教育コーディネーターを中心に地域の小中学校の特別支援教育推進に積極的に取り組む。 ②ホームページや学校見学会、公開授業研等を活用し本校の取組や特別支援教育に関する情報発信をさらに充実させる。
外部連携		①社会に開かれた学校として関係機関や専門家、外部講師との連携を積極的に行う。 ②「職業」で外部受注や校外での仕事を請け負う等地域協働による取組を推進する。
教育課程の改善		①学習指導要領に応じたカリキュラムとなるようシラバスづくりを行う。 ②職業の1〜3年生の縦割り時間割、教科名の見直し等のカリキュラムマネジメントを進め、教育課程の再編を行う。 ③職業代表者会を通し職業教育の充実に向け、外部受注、横断的な取組等教育内容の見直しを図る。
担当	教育課程・職業代表者会	